

Windows 10 をサーバー機にする場合の注意点

Windows 10 をサーバー機として使用する場合は、以下の点に注意し、サーバー機を設定してください。

下記作業は必ず管理者に確認の上、行ってください。

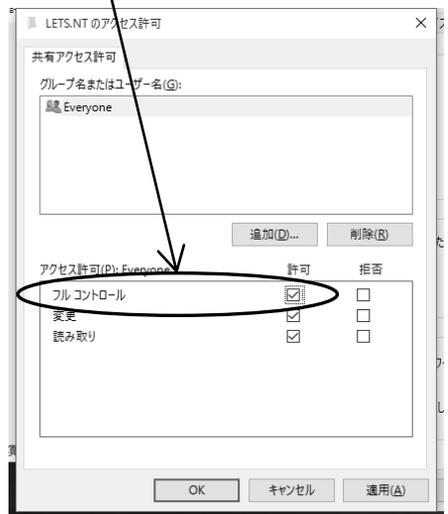
■ 共有フォルダ (LETS.NT) のプロパティ設定

- ① 「LETS.NT」フォルダのプロパティ画面で「共有」タブを選び、「詳細な共有」ボタンをクリックします。

- ② 右の画面が表示されますので、「このフォルダーを共有する」のチェックをONにします。

- ③ ②の画面で「アクセス許可」ボタンをクリックし、レッツ工事台帳を使用するグループまたはユーザーに対するアクセス許可の「フルコントロール」の「許可」のチェックをONにします。

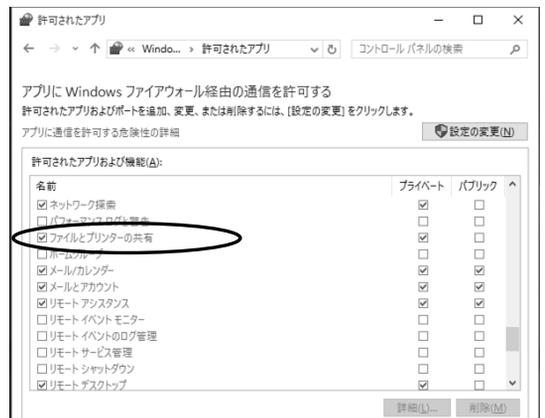
上記 2 箇所のチェックボックスが未チェックの場合は、クライアントのインストールが失敗します。



■ ファイアウォールの設定

ファイアウォール機能が有効になっている場合、Windows ファイアウォールの設定の「ファイルとプリンタの共有」のチェックをONにしてください。

※右の設定画面へは [コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可]の順に選択します。



Windows 10 へインストールする場合の注意点

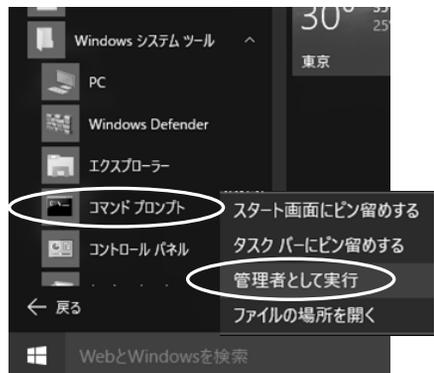
■ ネットワークドライブの割り当て（LAN環境にインストールする場合）

Windows 10 ではレッツ工事台帳のインストール時、管理者とログインしているユーザー両方に対してネットワークドライブの割り当てをする必要があります。

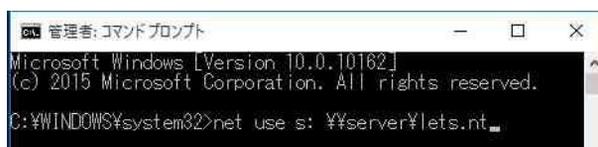
下記手順により「ネットワークドライブの割り当て」を行なってください。

※当作業は手順に従い、必ず管理者から割り当ててください。

- ① [すべてのアプリ] → [Windows システムツール] → [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。



- ② 「管理者：コマンドプロンプト」が表示されたら、「net use s: ¥¥サーバー名¥lets.nt」と入力し、Enterを押します。



- ③ [すべてのアプリ] をもう一度開き、ログインしているユーザーで [コマンドプロンプト] を実行します。
- ④ ②と同様に、「net use s: ¥¥サーバー名¥lets.nt」と入力し、Enterを押します。
- ⑤ [コンピュータ] を開き、ネットワークドライブがあることを確認します。
- ⑥ 本マニュアルP.7「インストール作業手順」に沿ってインストールを進めてください。

■ インストール後の設定（LAN・STD環境 共通）

工事台帳を起動時にエラーが表示される場合の設定

インストールする環境によって、工事台帳起動時にエラーが表示される場合があります。

その場合には、「C:\MRDBV60R」フォルダのセキュリティを変更してください。



工事台帳を使用するグループ名またはユーザー名に対して「フルコントロール」を許可します。

